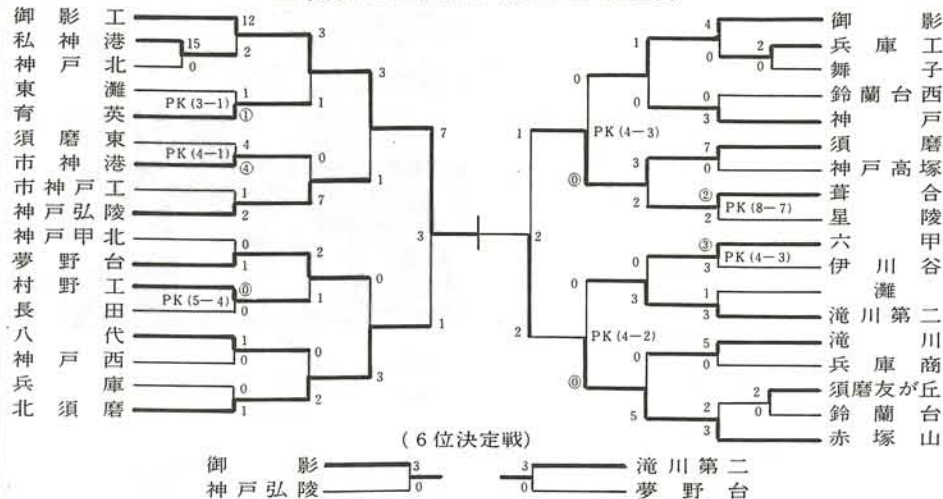


御影工高 神戸市新人大会を制す

59年度県高校新人戦神戸市予選は、12月25日から1月27日まで行われ、今大会に入って調子に乗った御影工が、決勝で赤塚山を破り、見事優勝を飾った。

なお、県大会にはこの両チームのほか、北須磨、須磨、御影、滝川第2の計6チームが出場した。

59年度兵庫県高校新人戦神戸市予選結果



市中2選抜 静岡遠征報告

市中2選抜監督 黒田和生
神戸市中学2年生選抜チームは、1月3日から6日まで清水市へ遠征した。第3回全国中学生選抜清水招待大会の招待を受け、選手21人、引率指導者3人が参加した。大会には全国の強豪12チームに清水市新人戦ベスト4が加わり、16チームによって争われた。神戸市は静岡県選抜、神奈川県選抜、清水七中（清水市中学校新人戦優勝）のグループに入った。

一次リーグでは、神戸1-2清水七中、神戸0-5静岡県選抜、神戸3-1神奈川県選抜で3位となった。

初戦の清水七中に星を落としたのが痛く、へたをすると、グループ最下位になるかもしれないと、追いつめられた最終戦の対神奈川戦では、選手が一丸となって逆転勝利。やっとチームらしくなってきた。

チームは冬休みに市内の高校相手に善戦をしていたので相当できると予想していたが、まだまだいろんな面でなげなさが足りなかった。なげなさが最も欠けたのは1対1での戦いだ。ボールを持った絶対的優位に立つ、相手ボールの時は絶対に奪い返す技術と気迫に欠ける。戦術面でもパスが弱い、BKの背後をつかない、つめが甘いなど伝統的(?)な弱点が目についた。

選手諸君は良い勉強をしてきたわけだが、今後も県外交流を積み重ねて神戸の中学生に共通した弱点を克服していかねばならないだろう。そして、県外の強豪を頭にいれて日頃の練習に励んでほしい。

大会中特に向上した選手は丸山の中の小世、高倉中の森岡、神戸FCの呉山であった。

59年度神戸市

社会人リーグ

3部結果

Aブロック

チーム名	KFC	育英	ノーリツ	朝銀	三菱	アール	東取
1 KFC	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
2 育英	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
3 ノーリツ	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0
4 朝銀	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0
5 三菱	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0
6 アール	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0
7 東取	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0

Bブロック

チーム名	コリアン	長田	ナポ	鈴高	星陵	三ツ星	板宿	自衛	経理
1 コリアン	2-2	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
2 長田	0-0	2-2	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
3 ナポ	0-0	0-0	2-2	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
4 鈴高	0-0	0-0	0-0	2-2	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
5 星陵	0-0	0-0	0-0	0-0	2-2	0-0	0-0	0-0	0-0
6 三ツ星	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	2-2	0-0	0-0	0-0
7 板宿	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	2-2	0-0	0-0
8 自衛	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	2-2	0-0
9 経理	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	2-2

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トーアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区赤坂通7丁目5-14 ☎078(861)8143
(861)4146

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

Cブロック

チーム名	北須磨	御影	生田	川鉄	大崎	アックス	太陽
1 北須磨	5-1	1-1	5-0	5-0	5-0	5-0	5-0
2 御影	1-5	5-0	1-1	2-1	5-0	0-1	0-1
3 生田	0-1	0-2	5-2	2-2	0-1	0-1	0-1
4 川鉄	0-5	1-1	2-5	0-3	0-1	0-2	0-2
5 大崎	0-5	1-2	2-2	1-3	0-3	0-1	0-1
6 アックス	0-5	0-5	0-2	1-1	1-3	1-1	1-1
7 太陽	0-5	0-1	0-1	0-2	0-1	0-1	0-1

Dブロック

チーム名	マック	住友	L.S.C	スワロー	県職	川西	アックス	大森	東園
1 マック	5-0	0-2	0-2	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
2 住友	1-2	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
3 L.S.C	0-2	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
4 スワロー	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
5 県職	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0
6 川西	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0
7 アックス	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0
8 大森	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0
9 東園	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0

Eブロック

チーム名	海	富士	双和	ホワイト	ガラ	富士通	国鉄	ロジ
1 海	5-0	0-2	0-2	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
2 富士	2-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
3 双和	0-2	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
4 ホワイト	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0
5 ガラ	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0
6 富士通	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0
7 国鉄	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0
8 ロジ	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0

Fブロック

チーム名	かつお	須磨	水道	上組	舞子	月光	新橋
1 かつお	5-0	0-2	0-1	0-1	0-1	0-1	0-1
2 須磨	2-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
3 水道	1-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0
4 上組	1-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0
5 舞子	1-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0
6 月光	1-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0
7 新橋	1-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0

Gブロック

チーム名	須磨	御影	関電	アパ	KFC	三ツ星	FC	摩球
1 須磨	3-2	0-0	0-3	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
2 御影	2-3	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
3 関電	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0
4 アパ	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0	0-0
5 KFC	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0	0-0
6 三ツ星	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0	0-0
7 FC	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0	0-0
8 摩球	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	0-0	5-0

神戸市社会人運営会議予定 次回 7月18日(木)

8月20日、9月19日、10月24日、
11月21日、12月19日、1月16日、
2月20日、3月13日、20日
いずれも18時30分から王子登山研修所。
社会人リーグに参加している各チームの
代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ-ハイム

第27回神戸市民大会 社会人の部

第27回神戸市民大会社会人の部は、3月21日から神戸中央サブグラウンドを中心に、54チームが参加して行われ、5月12日、神戸中央球場メインで三位決定戦と決勝戦が行われた。その結果、実力で勝る兵庫朝鮮蹴球団が須磨クラブを3-0で下し、優勝を飾った。また三位決定戦では双和クラブが神鋼本社を3-1で破った。

△決勝 (5月12日、神戸中央)

兵庫朝鮮 3 { 1-0 } 0 須磨クラブ
蹴球団 2 { 2-0 }

〔評〕 予想通り兵庫朝鮮の快勝に終わった。ボールのキープ力、寄せの速さ、突破のスピードなど個人技の差がはっきりと明瞭に分けた。特に体の使い方がうまく、1対1に強い。対する須磨クラブは、岡村、新井らがセンスの良いプレーを見せたが、八分通りボールを支配され苦しい戦いとなった。須磨クラブにとっては前半15分、20分、後半開始早々のチャンスを兵庫朝鮮GKのファインプレーにはばまれたのがやまられる。兵庫朝鮮は前半23分、右からのセンターリングをボレーシュートで決め先制、後半にも右サイドから追加点を上げ、試合を有利に進めた。その後も個人技によって1点を加え結局3-0で兵庫朝鮮が優勝した。

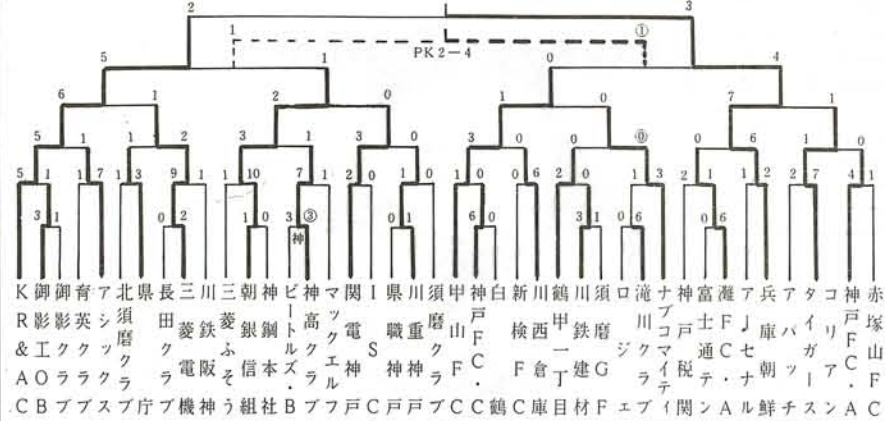
今大会の上位には、いずれもスキルフルなチームが進出した。今後も各チームともスキル(戦術的に適確な判断に基づく技術の発揮)を高めるとともに、楽しいサッカーを心がけてもらいたい。 森川和俊

△3位決定戦 (5月12日、神戸中央)

双和 1-1
クラブ 2-0 1 神鋼本社

なお、今大会は、3月下旬から始められたためか、1回戦22試合中8試合が棄権試合となり、残念な記録となった。社会人として楽しくサッカーができるよう、お互いがもう少し気をつけていきたいものだ。

第10回神戸市社会人リーグ選手権大会 (60年2月10日~4月7日) 結果 優勝 兵庫朝鮮、2位 KR&AC、3位 甲山FC、4位 朝銀信組



1985 2月号

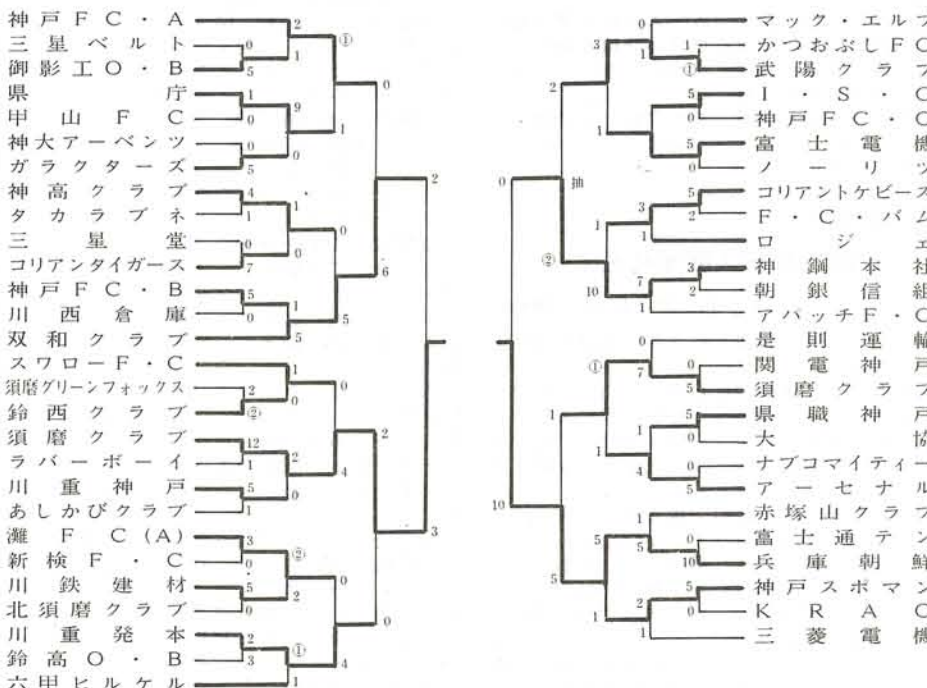
発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎(078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100

毎月10日発行 購読料1部50円

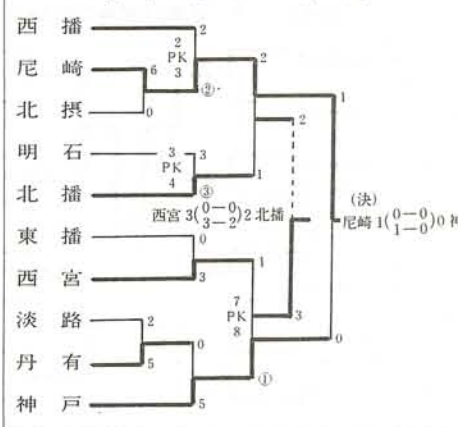
兵庫朝鮮蹴球団あざやかな優勝



第27回神戸市民大会社会人の部



昭和60年度 社会人都市対抗戦結果 (60年3月17日~3月31日)



59年度 兵庫県高校新人大会

御影 圧倒的強さで優勝

59年度県高校新人大会は、2月10日から24日まで、淡路島を中心に行われ、決勝は神戸中央球技場で御影对小野の間で争われた。その結果、御影が3-0で小野を下し、実に25年ぶり二度目の優勝を飾った。

▷決勝（2月24日、神戸中）

御影 3 { 1-0 } 0 小野

〔評〕 総合力で上回る御影に対して、小野がどこまで頑張れるか興味の持たれる一戦であったが、結果は御影の快勝に終わった。

立ち上がりは速い展開をする御影に対し、小野もスピードのあるFWを走らせ、五分の内容であった。しかし、除々に実力に勝る御影がFW・HBの早い球出しから優位に立ち、前半22分に、FW栗井からのセンターリングをFW山中が決め先制点を奪った。

後半に入っても、御影は攻撃の手を緩めず、後半立ち上がり3分、今度はFW金がFKからヘディングシュートを決め2点目。さらに終了間際の31分にもCKから栗井が得点。ねばる小野を突き放した。

小野はスピードのあるFW陣を生かしきれなかったのが敗因。総合体育大会まで、ミッドフィールダーの養成に力を入れてもらいたい。

一方、御影は選手一人一人が指導者の意図を理解し、実行できるだけの技量を身につけてきているように思う。ただ全国のトップレベルのチームと互角に戦うためには、ストライカーの養成が必要。また県外にまで足を伸ばし、激しいサッカーも身につけていくことも大切である。

〈結 括〉

県高校新人戦を終えて

高校委員長 個 幹夫

久々に支部で開催された新人大会も御影高校の勝利で幕を閉じた。

本大会は淡路島で行われたため、三原高や志知高といった淡路勢が有利に進出するかもしれないが、三原は小野に、志知は二回戦で三木東に早々敗れ上位進出を阻まれたのは残念なことであった。

ところで、本大会中一番の見どころはなんといっても豊岡高のベスト4進出であろう。チームワークのとれた戦いぶりは見事であったし、平均のとれたチーム力と精神的なパワーは相手を上回っていた。残念ながら御影の力には及ばなかったが、サッカーの試合においていかにチームワークが大切かを改めて教えてくれたチームとして高く評価されよう。

出場したチーム個々についていうならば、相手に得手・不得手があったり、相手の作戦に対して、たとえば、捨身の相手に対応しき

れなかったり、一人、二人の選手に頼りすぎたり、ルールが理解されていなかったりするようなまだまだ新人戦の域を脱しきれない未熟さがあり、今後のトレーニングに期待するところが大きい、体力・技術というまでもなくチームワークの大切さにも目を向け総体へのスタートを切ってほしい。

選手一人一人が体力の弱さに気づき、筋力アップやスピードアップに目を向けたとき、新人の未熟さを脱し一段も二段も高いレベルの選手になることが出来るし、チーム力を上げる原動力にもなるのではないだろうか。

新人戦に優勝して

御影高監督 森田 哲哉

新人大会に臨むにあたって本校は二つのことを課題にしました。一つは、いかにして点を取るかということです。これは昨年、チーム力としては相手を上まわりながら決定力の不足により敗れた反省から、今年一年の最大の課題ともいえるものです。当然まだチームとして未完成なこの時期では、チームとして点を取ることも、個々のシート力の向上、特にシュートに対する意欲をFW・MFに限らず、DFであってもチャンスには思いきって点を取りに行くことを意義づけました。その結果、神戸市予選においては点を取るんだという意識が浸透し、一試合平均20本以上のシュート数となり、決定力という面ではもの足りない面があるものの、シュートを打って欲しい場面でシュートが打てる様になり、ある程度の成果を得ることができました。

もう一つの課題はツートップシステムへのチャレンジです。ストライカー不在と、それに反して中盤の選手が多いという選手層と、個人の戦術眼の向上が目的です。トップ・二人のコンビネーションや、両サイドのスペースの使い方や、そこにとび出すタイミング、MFのバランスや両サイドバックの攻撃参加等、個々の戦術的能力がないとこなせないシステムですが、選手のあらゆる可能性を知ることかねて、新チームに取り入れてみました。

県大会に入り、怪我や風邪等故障者の多い中、苦戦を強いられ、又やり慣れないシステムのため一戦一戦ポジションを変更し、試行錯誤の中で何とか勝ち抜いたことに、選手にとっては非常に大きな意義があり、新チームの方向もある程度みえてきた様に思われます。決定力の強化を最大の目標に、今後も支えられた選手の可能性を十分にのばして、よりレベルの高いチームで次の大会に臨みたいと思っています。



優勝した神戸FCボーイズ

神戸FC 初代チャンピオン

第1回神戸兵庫ライオンズ杯春季新人大会

全日本大会市予選のシードチームを決める第1回神戸兵庫ライオンズ杯春季新人戦は、3月10日から21日まで、御崎少年サッカー場で行われ、決勝は神戸FCボーイズ対多井畑少年団の間で争われた。

試合は両者無得点のまま延長戦にもつれ込む好ゲームとなったが、結着がつかずPK戦となった。その結果神戸FCが4-2で下し初の栄冠を勝ち取った。

▷決勝（3月21日、御崎少年）
神戸FCボーイズ 0-0 多井畑少年団
（延長）0-0
（PK）4-2

〔評〕

開始早々から激しいボールの奪い合いとなり予想通りの好ゲームとなった。神戸FCは伝統的な3BKで中盤を圧くしたのに対し、多井畑はスイーパーが深く守りやや守備的なラインからカウンターをねらった。終始神戸FCが押し気味に進めたが、多井畑の体を張った気迫あふれるプレーに得点できない。一方多井畑は機を見て神戸FCゴールを連攻で脅かした。しかし、両者とも決定的なチャンスを生かせず延長戦となったが、結局無得点のままタイムアップ。PK戦は神戸FCに凱歌が上ったが、PK戦で優勝チームを決めるには惜しい好試合だった。ただ、両チームとも厳しいマークの中で正確なボールコントロールができれば、さらに良い試合になったと思われる。

第1回神戸兵庫ライオンズ杯春季新人戦結果

八 多	0	神戸FC	0	つづが丘
千 歳	4	7 P K	0	東 灘
桜 宮	0	2	5	多井畑
鶴 越	0	2	1	若 草
神戸FC	10	2	2	福 住
ひより台	2	1	1	新多聞
K Y I	1	0	4	蓮 池
北須磨	0	1	0	和田岬
木 津	2	1	1	夢 野
神陵台	9	1	0	箕 谷
鈴蘭台	1	0	3	有 野
北五葉	0	1	0	高 倉
みさき	10	1	0	泉 台
成 徳	PK 3-1	0	0	塩 屋
紅 ツ子	1	0	9	東舞子

▷3位決定戦 木津6-1 夢野

昭和59年度 兵庫県高等学校新人大会結果									
三小	原野	2(3-1) 2	御影	3(2-0) 0	明石	西影			
篠山鳳鳴	PK 3-2	2(0-0) 0			御影	徳報			
北須磨	4(3-0) 0	2(1-0) 1			御影	宝塚			
柏原東	8(3-1) 0	2(1-0) 0			御影	竜磨			
三木東	2(0-0) 2	3(2-0) 1			御影	明石			
志塚知	PK 4-2	3(0-0) 0			御影	県芦			
福崎	1(0-0) 1	3(1-0) 0			御影	津名			
伊丹西	3(1-0) 0	0(0-0) 0			御影	姫路			
八須磨	1(0-0) 0	PK 3-1			御影	加古川			
豊岡	2(0-0) 1	1(0-0) 1			御影	滝川第二			
三伊丹	北	2(2-1) 1	御影	御影	御影				

充実のモルテンTango

サッカー界の最良のボール

MTF5AD official trial and weight molten Selected core-hold Made in Japan

Tango

Official FIFA World Cup design

株式会社モルテン

広島 / 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌

日本サッカーにルネサンスは起こるか？(20)

枚方FC 近 江 達

表現技術の重視

西欧の教育は自己表現と自我完成に集中する。同時に、他者尊重を重視する。

子安美知子

わが国と欧米では教育にも相違がある。日本の学校教育では他人に対する話し方、説き方を積極的に教えることはほとんどない。世間でも教育界もそんなことが必要とは思っていない。

だが欧米はちがう。会話、表現、社交、交渉、討論といったコミュニケーション（意志伝達）の技術を家庭でも学校でも積極的に教える。

人は誰でも地域、職場、学校といったコミュニティ（人間集団）の一員として生活せざるを得ない。当然、人間関係が大切なので、人と巧くやっていけるように教育すべきだ、と考えているからである。

でも、そういうことなら日本でも同じなのに、なぜ彼らは我々と違って、ことさらにコミュニケーションを重視するのだろうか？

それは、彼らが軽々しく他人を信用せず、「もともと人が理解できるのは自分のことだけで、私には他人のことはわからないし、他人も私のことなどわかるはずがない。人間とはそういうものなのだから、黙っていると他人に何をされても仕方がない。危険な場合だってあり得る」という人間の生理を前提として社会生活をしているからである。

そこで彼らは努力を惜しまず、どこでも誰にでも積極的に話しかけて、自分のことをわかってもらえるように説明し、必要なことは明瞭に伝える。また、良い人間関係を作るためには、一方的主張だけでなく、他人を理解することも大切なので、他人の意見や権利を尊重する。

早い話、レストランでも肉の焼き具合、コーヒーの砂糖、ミルクから酒の銘酒、ドレスリングまでいちいち尋ねる。日本人には有難迷惑で、こちらでそんなに注文をつけた日にはうるさながら、板前が怒ってきかねない。信頼して任せておけば円満にいく。だいいち気楽だ。

ところが彼らは逆で、任せられると、それこ



▲第1回全日本クラブユース東西対抗戦より

そ他人のことはわからないので、どう取りはからえばいいのか困ると言うから面白い。

万事そんな調子で、日常生活でも、しょつゅう決断を迫られ、何か意志表示しないといけないので、たえず自分の好みとか意見とか計画とかを用意しておかねばならない。

日本人のようにあいまいな態度でも何とかなる“お任せ社会”と違い、言葉だけが唯一の意志表示の手段である他人社会だから、イエスカノーか決めるべきときに遠慮して黙っていると、イエスと見なされてしまう。そもそも自分に不都合なことにノーも言わないでいる人間がいるなんて、彼らには相像もつかないものである。

欧米選手がこうした、自己主張しないと無視され、互に主張をぶつけ合って、一歩譲れば理の当然とばかりさらに一歩踏みこんでこられる、ドライな世界で育ち生活していることを思うと、彼らが日本人との試合でみせる傍若無人ともみえる言動やプレーぶりがよく理解できる。

また、さしたる自我もなく、むしろ自己主張しないで流されてゆく方が無事に暮らしていける社会で育った日本選手、何人かごとのような試合ぶりにも納得がいく。

したたかな教育

U S A の高校には文章創作の時間がある。日本の作文とはちがったもので、問題が出される。

たとえば、勤め先が変わる場合、前の雇い主から推薦状をもらって次の就職希望先に出す習慣があるが、生徒はもとの雇い主になったつもりで推薦状を書け、という問題が出る。ただし、書式や体裁を教えるのではない。

イーデス・ハンソン氏が今でも印象に残っているのは、お手伝いさんの推薦状で、「そのお手伝いさんは自分のところで働いたときはよくなかった。だから推薦できない。でも要求されたので書かざるを得ない」という設定だったが、それらが振っている。

「嘘はつかないで、こちらの本当は推薦したくないのだという気持ちを、宛先が読みとることができて、しかも本人はけなされていると思わないような文章を書け」と注文されたのである。

かなり難しいが、事実を率直に告げるだけと思われがちな彼らにもデリケートな心づかいがあることがわかる。だがそんなことよりも、この現実性はどうか？

彼らの学校は知識教育だけのわが国とちがいで、子供たちに社会に出る準備をさせるところなので、教育が具体的なのは当然としても日本なら現実を避ける傾向が強いから、もし同じ科目ができてこうはなれない。きれいでだけになるのは目に見えている。

そこえいくと、現実を直視して、「社会とはこんなものだから、うまくやれよ」と言わんばかりに公然と教育する彼らのしたたかさは、役者が一枚上というほかない。

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者、近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好意で転載しております。

「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と、近江氏はいうが……。



ゼロックス・スーパーサッカーより

違いを認めぬムラ社会

日本は意志決定、すなわち悪とされるような特殊社会である。

会田雄次

ただでさえ外向的な性格に加えてコミュニケーションの技術まで教育する彼らとは全く対照的に、内向性で閉鎖的な我々の社会では、内容や巧さどころか、自己主張という行動をとること自体かなり難しい。

我々は、こう言えば人はどう感じるか気を使って、なるべく人に悪く思われぬよう、波風を立てぬように注意して話し振る舞う。

というのは、情ないことに、大和民族は自分の氏素性を知っている人には丁重でも、知らぬ人には別人のように態度が変わる。例をあげると、バス停や買物では順番を守らず、行列しても隙あらば先回りしようと狙うえげつなさも共有している怨念の民族なので、公平に理にかなったことを語ってさえ、根にもたれて逆恨みやいやな目に合うケースが少なくないためである。

それでも我が道を行けるほど日本人の神経は強くない。自然“さわらぬ神に祟りなし”と逃げてしまうので、会議などは皆あまり発言したとがらない。聞く側にも大いに問題がある。発言したところ、良い意見を探りあげ意欲も才能も乏しい。初めからその気がないことさえ珍しくない。

かと言って、本気で意見を戦わせても巧くいかなぬことが多い。すぐに感情が入りムキになる。また、わざわざ挑発的にからむ非常識な人間さえいる。それで喧嘩になったり、負けるものかとばかり、相手の言い分など全然聞かず、相手を攻撃し自分の意見を言い張るだけで終わってしまう。

大多数の人々はそうした気まずさ、煩わしさ、あと味の悪さや後難がいやで、意見や異論があっても口を閉ざし陰でブツブツ言うわけである。

(つづく)

モンブランの “スピードサッカー”

基本のプレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ

markam® & Libe/o®

親しまれるサッカーウェア Younger®

モンブラン株式会社

リアル・スポーツの追求

モンブラン株式会社

神戸・東京・福岡

リベロメイン06

標準小売価格¥9,800